

## 給与所得者の方

⇒ 給与天引き以外に住民税を納めている方は、次の「給与所得者以外の方」を参考にしてください。

平成28年度 給与所得等に係る市町村（区）民税・道府県（都）民税特別徴収税額の決定・変更通知書を参考にしてください。

※ 様式は、各地方公共団体によって異なります。

平成28年度 給与所得等に係る市町村民税・道府県民税 特別徴収税額の決定・変更通知書 (市町村民税用)

納税者氏名: [ ] 住所: [ ]

給与所得: [ ]

特別徴収税額: [ ]

特別徴収税額⑧を『住民税』欄へ記入

## 給与所得者以外の方

⇒ 平成28年度 市町村（区）民税・道府県（都）民税税額決定・納税通知書を参考にしてください。

※ 様式は、各地方公共団体によって異なります。

市町村民税・道府県民税 税額決定通知書

納税者 氏名: [ ] 住所: [ ]

平成28年度 市町村民税 道府県民税

1 市町村民税及び道府県民税決定の明細

通知書の項目記載例:

- 「住民税額計」
- 「年税額」
- 「市町村（区）民税及び道府県（都）民税の合計税額」
- 「普通徴収と特別徴収の合計額」

記載されている額を『住民税』欄へ記入

### 【金額記入の注意】

千円未満は四捨五入して、千円単位で右づめに記入してください。  
 (1~499円は「0千円」、500~1,499円は「1千円」)

質問5

平成27年分の社会保険料の支払いはありましたか。

医療保険（短期掛金）・年金保険（長期掛金）・介護保険・雇用保険のうち、ひとつでも支払いのあったときには、1に〇をつけ、支払った金額も記入してください。ひとつも支払いがなかったときには、2に〇をつけてください。

※ 保険料は、実際に支払った方が記入してください。

1 支払いあり

2 支払いなし

（支払いのない方は、14ページにお進みください。）

● 昨年1年間に支払った社会保険料の総額を記入してください。

記入のしかたは、11ページの【『社会保険料の総額』の記入のしかた】より、「給与所得者の方」又は「給与所得者以外の方」から選んで記入してください。

社会保険料の総額     万  千円

01

千 百 十 一

千円未満は四捨五入して、千円単位で右づめに記入してください。

● 支払った保険料の内訳を記入してください。

記入のしかたは、12ページの【『支払った保険料の内訳』の記入のしかた】より「給与所得者の方」又は「給与所得者以外の方」から選んで記入してください。

内 訳

医療保険 (短期掛金) 02     万  千円

千 百 十 一

年金保険 (長期掛金) 03     万  千円

千 百 十 一

介護保険 04     万  千円

千 百 十 一

雇用保険 05     万  千円

千 百 十 一

千円未満は四捨五入して、千円単位で右づめに記入してください。(1~499円は「0千円」、500~1,499円は「1千円」)

14ページへ

## 【『社会保険料の総額』の記入のしかた】

### 給与所得者の方

下の書類をお持ちですか。複数お持ちの方は1つを選んでください。

- 持っている方
- 源泉徴収票 [原本又は写し] ⇒ 参考資料①
  - 確定申告書 [控] ⇒ 参考資料②
  - 住民税の納税通知書 ⇒ 所得控除欄の「社会保険料」

持っていない方  
⇒ 12ページに進み、【『支払った保険料の内訳』の記入のしかた】を参考に、内訳を計算してから、内訳の合計を総額に記入してください

### 給与所得者以外の方

下の書類をお持ちですか。複数お持ちの方は1つを選んでください。

- 持っている方
- 確定申告書 [控] ⇒ 参考資料②
  - 住民税の納税通知書 ⇒ 所得控除欄の「社会保険料」

持っていない方  
⇒ 12ページに進み、【『支払った保険料の内訳』の記入のしかた】を参考に、内訳を計算してから、内訳の合計を総額に記入してください。

【注意】 昨年、年の途中で支払い方法を変更された方（例：納付書から給与天引きに変更）は、それぞれで支払った保険料の合計を記入してください。

### 参考資料① 給与所得者の方

⇒ 平成27年分 給与所得の源泉徴収票 [原本又は写し] を参考にしてください。

平成27年分 給与所得の源泉徴収票

支払元	支払先	支払金額	源泉徴収額の合計	住民税の合計	社会保険料等の合計
〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇

『社会保険料の総額』欄へ記入

### 参考資料② 給与所得者の方 給与所得者以外の方

⇒ 平成27年分の所得税の確定申告書 [控] を参考にしてください。

平成27年分の所得税の確定申告書B

所得控除	社会保険料控除	合計
〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇

社会保険料控除 ⑫

『社会保険料の総額』欄へ記入  
※ 申告書Aでは、⑥欄になります。

【金額記入の注意】  
千円未満は四捨五入して、千円単位で右づめに記入してください。  
(1~499円は「0千円」、  
500~1,499円は「1千円」)

## 【『支払った保険料の内訳』の記入のしかた】

### 給与所得者の方

給与明細書をお持ちですか。

(給与から天引きされていない方は、右の「給与所得者以外の方」から選んでください。)

1年分を持っている方  
⇒ 月々(ボーナス分を含む。)の給与明細書から、社会保険料の種類ごとに平成27年1年分の金額を合計して記入してください。

1か月分を持っている方

10ページの『社会保険料の総額』を記入した方  
⇒ 計算式A

10ページの『社会保険料の総額』を記入していない方  
⇒ 計算式B

### 給与所得者以外の方

保険料は、どのような方法で納付されましたか。

口座振替 又は 納付書(普通徴収)で納付された方  
⇒ 納入(税)通知書又は各納付書から、国民健康保険料(税)、国民年金保険料、介護保険料の平成27年に納付した金額の合計を記入してください。

公的年金から天引き(特別徴収)で納付された方  
⇒ 参考資料③ 年金振込通知書等から、医療保険料、介護保険料の平成27年に納付した金額の合計を計算してください。

- 【注意】
- ・ 昨年、年の途中で支払い方法を変更された方(例：納付書から給与天引きに変更)は、それぞれで支払った保険料の合計を記入してください。
  - ・ 40歳以上の方で、医療保険と介護保険の区別ができない場合は、医療保険にまとめて記入してください。
  - ・ 「厚生年金基金」の支払いは年金保険に含めますが、「国民年金基金」、「農業者年金」の支払いは、14ページの質問7「企業年金・個人年金等」に含めてください。

### 参考資料③ 給与所得者以外の方

② 年金振込通知書

以下の金額がご指定の金融機関の預貯金口座に振り込まれます。  
なお、お支払いは平成 年 月から平成 年 月までの各月に行われます。(裏面の支払予定日をご参照ください)

年金の種類	年金
基礎年金番号	年金コード
受給権者氏名	
振込先	
「年金支払額」および「年金から特別徴収する保険料(税)額」等の金額	
年金支払額	円
介護保険料額	円
国民健康保険料(税)額	円
個人住民税額	円
控除後振込額	円

介護保険料額	円
	円

以下のいずれかが印字  
「国保保険料(税)額」  
「後期高齢者医療保険料額」  
「\*\*\*\*\*」

- ・ 介護保険料額  
⇒ 『介護保険』欄へ記入
- ・ 国保保険料(税)額 又は 後期高齢者医療保険料額  
⇒ 『医療保険(短期掛金)』欄へ記入

※ 平成27年1年分の金額を記入してください。年金振込通知書は、1支払期(2か月)分が記入されています。

### 計算式A

『社会保険料の総額』を記入した方

① 給与明細書から転記

(1) 1か月分の 医療保険料 (短期掛金)	[ ] 円	×	(6) [ ]	=	医療保険 (短期掛金) 02	[ ] 円
(2) 1か月分の 年金保険料 (長期掛金)	[ ] 円	×	(6) [ ]	=	年金保険 (長期掛金) 03	[ ] 円
(3) 1か月分の 介護保険料	[ ] 円	×	(6) [ ]	=	介護保険 04	[ ] 円
(4) 1か月分の 雇用保険料	[ ] 円	×	(6) [ ]	=	雇用保険 05	[ ] 円

計算後、千円未満は四捨五入して、千円単位で10ページに記入してください。

②

(5) 『社会保険料の総額』 ※10ページに記入した額と同じ金額			(1)~(4)を合計し、 千円未満は四捨五入		小数点第2位 を四捨五入
社会保険料 の総額 01	[ ]	千円 ÷	[ ]	千円 =	(6) [ ]

### 計算式B

『社会保険料の総額』を記入していない方

①

給与の月数 (回数) [ ] 回	+	ボーナス月数 [ ] 回	=	(1) [ ]
		(1年分のボーナスが給与の 何か月に相当するか)		小数点第2位 を四捨五入

②

給与明細書から転記					
(2) 1か月分の 医療保険料 (短期掛金)	[ ] 円	×	(1) [ ]	=	医療保険 (短期掛金) 02 [ ] 円
(3) 1か月分の 年金保険料 (長期掛金)	[ ] 円	×	(1) [ ]	=	年金保険 (長期掛金) 03 [ ] 円
(4) 1か月分の 介護保険料	[ ] 円	×	(1) [ ]	=	介護保険 04 [ ] 円
(5) 1か月分の 雇用保険料	[ ] 円	×	(1) [ ]	=	雇用保険 05 [ ] 円

計算後、千円未満は四捨五入して、千円単位で10ページに記入してください。

③

計算した『02 医療保険 (短期掛金)』から『05 雇用保険』の合計を千円単位で記入	
社会保険料 の総額 01	[ ] 千円 ※ 10ページの『01 社会保険料の総額』欄へ 忘れずに記入してください。

質問 6

平成 27 年度の固定資産税の課税はありましたか。

あてはまる番号に○をつけ、  
1に○をつけた方は金額も記入してください。

1 課税あり

固定資産税

					万		千円
--	--	--	--	--	---	--	----

千 百 十 一

千円未満は四捨五入して、千円単位で右づめに記入してください。  
(1~499円は「0千円」、500~1,499円は「1千円」)

2 課税なし

※ 個人所有の土地・家屋（事業関係分は除く。）に対する税額です。  
土地・家屋の名義人か否かにかかわらず、実際に支払った方が記入してください。

【参考書類】平成27年度 固定資産税・都市計画税通知書

質問 7

平成 27 年分の企業年金・個人年金等の掛金を  
支払いましたか。

あてはまる番号に○をつけ、  
1に○をつけた方は金額も記入してください。

1 支払いあり

企業年金・個人年金等

					万		千円
--	--	--	--	--	---	--	----

千 百 十 一

千円未満は四捨五入して、千円単位で右づめに記入してください。  
(1~499円は「0千円」、500~1,499円は「1千円」)

2 支払いなし

※ 掛金は、実際に支払った方が記入してください。

【企業年金の例】確定給付企業年金・確定拠出年金（企業型）などの本人拠出分

【個人年金の例】生命保険会社・かんぽ生命・銀行・証券会社などの個人年金や年金型商品

【その他】国民年金基金、農業者年金、確定拠出年金（個人型）



世帯主 又は 世帯を代表する方 は  
引きつづき下の 質問8 にもお答えください。

質問8

現在の暮らしの状況を総合的にみて、どう感じていますか。

あてはまる番号1つに○をつけてください。

- 1 大変苦しい
- 2 やや苦しい
- 3 普通
- 4 ややゆとりがある
- 5 大変ゆとりがある

ご記入ありがとうございました。

